PART 1 アルファベット

1 ブロック体

アルファベットを1文字ずつ離して書くのが「ブロック体」です。

001

エィ A	ビィ B	スィ C	ディ D	イィ E	エフ F	ジィ G
エィチ H	アィ I	ジェィ J	ケィ K	エゥ L	エム M	エヌ N
オゥ O	ピィ P	キュゥ Q	アー R	エス S	ティ T	ユゥ U
ヴィ V	ダブュ W	エクス X	ワィ Y	ズィ Z		

※カタカナは実際の英語の音に近い「発音イメージ」です。

発音しながら書いてみましょう！

002

練習ドリル

すべて大文字で書いてみましょう。

例）ヴィアィピィ　VIP

① イィエクスアィティ

② ジェィエィピィエィエヌ

③ オゥピィイィエヌ

④ スィエゥオゥエスイィ

答え

例）VIP　意味：ヴィップ・とても重要な人物
（Very Important Person の頭文字をつなげた省略形）

① EXIT
単語の発音：エグズィッ(トゥ)　意味：出口・立ち去る

② JAPAN
単語の発音：ジャパン　意味：日本

③ OPEN
単語の発音：オゥプン　意味：開ける・開いている

④ CLOSE
単語の発音：クロゥズ　意味：閉じる
単語の発音：クロゥス　意味：近い

発音も意味も2通りあるよ！

どれも看板などでよく見かける単語だね。

Hello. (1拍) こんにちは。

Good morning. (2拍) おはよう。

Have a nice day! (3拍) よい1日を!

さあ、お手を拝借! リズムをとりながら話すなんて、英語は音楽みたいだね。

3 イントネーション

英語の文を話すときは、音を上げたり、下げたりします。

017

音が下がっているのはどこ?

Bye. See you. See you tomorrow.

文の最後にピリオドがつくときは音を下げます。

Bye. ↘ さようなら。

See you. ↘ またね。

See you tomo ↗ rrow. ↘ また明日。※tomorrowは1語

文の最後の音を下げるために、その前の音を高くしておこう!

018

音が上がっているのはどこ?

Are you OK?

Do you like apples?

相手に「はい」「いいえ」の答えを期待する文で、文の最後にクエスチョンマークがつくときは音を上げます。

Are you O ↘ K ↗ ? 大丈夫ですか。

Do you like ↘ apples ↗ ? あなたはリンゴが好きですか。

文の最後を上げるために、その前の音を下げておこう!

019

音の上がり下がりがわかるかな?

Who is he?

What is it?

Where are you?

When is your birthday?

How are you?

PART 3 文の種類

045

日本語では、文の終わりを見ると、文の種類がわかります。

「～です」→ 肯定文	「～ではありません」→ 否定文
「～ですか」→ 疑問文	「～しなさい」→ 命令文

英語では、基本的にメインの文（主節）のはじめの方を見ると、文の種類がわかります。

- 肯定文：主語＋動詞～.（文の最後はピリオドなど）

  I study English.　私は英語を勉強します。

- 否定文：文の中に not がある。（文の最後はピリオドなど）

  I do not (don't) study English.　私は英語を勉強しません。

- 疑問文：主語が文の先頭にこない。（文の最後はクエスチョンマーク）

  Do you study English?　あなたは英語を勉強しますか。

- 命令文：動詞から始まる。（文の最後はピリオドなど）

  Study English!　英語を勉強しなさい！

強い命令文にしたいときは、ピリオドの代わりに「!」（びっくりマーク・エクスクラメーションマーク）をつけるよ。

日本語は文の後半、英語は文の前半が大事なんだね。

英語では文の中で使う動詞の種類によって文のつくり方が変わります。

1 be 動詞を使う文

046

肯定文：I am (I'm) kind.　私は親切です。

否定文：I am not kind.　私は親切ではありません。

I am の省略形 I'm を使って、I'm not kind. でも OK。

疑問文：Am I kind?　私は親切ですか？

命令文：Be kind.　親切にしなさい。

否定文は be 動詞＋not に、
疑問文は be 動詞と主語がひっくり返るよ！

練習問題で Check!!　次の肯定文を書き換えてみよう。

I am kind. → 否定文：＿＿＿＿＿＿＿＿

→ 疑問文：＿＿＿＿＿＿＿＿

→ 命令文：＿＿＿＿＿＿＿＿

答え

否定文：I am not (I'm not) kind.
疑問文：Am I kind?
命令文：Be kind.

PART 7 比べる表現

英語で何かを他と比べて表現する方法は3種類あります。「～と同じくらい」を原級、「～より（もっと）」を比較級、「～の中で一番」を最上級と呼びます。

1 原級「～と同じくらい」

088

as＋形容詞/副詞＋as という形で表します。

☆元の文：This cup is big.
このカップは大きいです。

原級の文：This cup is as（はさむ） big as that one.
このカップはあのカップと同じくらい大きいです。

☆元の文：This cup is expensive.
このカップは高価です。

原級の文：This cup is as（はさむ） expensive as that one.
このカップはあのカップと同じくらい高価です。

☆元の文：This cup is good.
このカップは良いです。

原級の文：This cup is as（はさむ） good as that one.
このカップはあのカップと同じくらい良いです。

that one の one は前に出てきた名詞と「同じ種類のもの」という代名詞。ここでは cup のことで、繰り返しを避けて言い換えているよ。

否定文になると「～ほど○○ではない」という意味になります。

☆元の文：This cup is not (isn't) big.
このカップは大きくないです。

原級の文：This cup is not (isn't) as big as that one.
このカップはあのカップほど大きくないです。

練習問題で Check!!　原級を使って、英文にしよう。

① このカップはあのカップと同じくらい大きいです。
This cup is (　　) (　　) (　　) that one.

② このカップはあのカップと同じくらい高価です。
This cup is (　　) (　　) (　　) that one.

③ このカップはあのカップと同じくらい良いです。
This cup is (　　) (　　) (　　) that one.

④ このカップはあのカップほど大きくないです。
This cup is (　　) (　　) (　　) (　　)
that one.

⑤ このグラスはあのカップほど安くはないです。
This glass is (　　) (　　) (　　) (　　)
that cup.

答え
① as big as　② as expensive as　③ as good as
④ not as big as　⑤ not as cheap as

PART 5 仮定法

事実と逆のことを表すとき、仮定法というルールを使います。

想像力を使って、何かを思い浮かべるときにピッタリの文法だよ！

1 仮定法過去

125

現在の事実と逆のことは、仮定法過去を使います。

If＋主語＋過去形，主語＋would/could＋動詞の原形という形で表します。

表す内容は現在のことだけど、Ifの後ろで使う動詞の形が過去形だから、仮定法過去と呼ばれます。

過去形　助動詞
If I were you, I would go there.
もし私があなたなら、そこに行くのになぁ。

主語がIでもhe(3人称)でも、be動詞はwasよりwereを使うことが多いよ。
実際には「私はあなたではない」＝事実とはちがう話ってことだね。
wouldは「～するのになぁ」という意味になるよ。

過去形　助動詞
If I got the ticket, I could go there.
もしチケットが手に入れば、そこに行けるのになぁ。

これも実際には「チケットがない」＝現実とはちがう話だね。
couldは「～できるのになぁ」という意味に。

助動詞
I wish I could go there.
そこに行ければいいのに。

wishは「～ならいいのに」という願望を表すよ。「本当はしたいけど実際には～できない」と、何かを断るときの表現としてよく使われるよ。

練習問題で Check!!　空欄に適切な単語を入れよう。

① もし私があなたなら、そこに行くのになぁ。
If I (　　) you, I (　　) go there.

② もしチケットが手に入れば、そこに行けるのになぁ。
If I (　　) the ticket, I (　　) (　　) there.

③ そこに行ければいいのに。
I wish I (　　) (　　) there.

④ もし彼女が満足しているなら、夢を見るのをやめるでしょう。
If she (　　) satisfied, she (　　) (　　) dreaming.

答え
① were / would　② got / could go　③ could go　④ were / would stop

④be satisfiedは感情を表す受動態(p.172)、stop＋動名詞(p.187)という文法は覚えているかな。復習の要素も入れてみたよ。何度も振り返りながら練習していこう。

「行くのに」→ would go と「行けるのに」→ could go のちがいに注目。

PART 7 リーディングにチャレンジ

これまで勉強してきた英文法を思い出しながら、名作『ピーターラビット』を原文で味わってみましょう。

137

①
Once upon (昔々) a time there were four little Rabbits, and their names were — Flopsy, Mopsy, Cotton-tail, and Peter.

②
They lived with their Mother in a sand-bank (砂の土手), underneath the root (根) of a very big fir-tree (モミの木).

③
'Now, my dears,' said old Mrs. Rabbit one morning, 'you may go into the fields (畑) or down the lane (小道), but don't go into Mr. McGregor's garden: your Father had an accident (事故) there; he was put in a pie by Mrs. McGregor.'

④
'Now run along, and don't get into mischief (いたずら). I am going out.'

① there were は there is / are ～「～がいる・ある」の過去形です。後ろに four little Rabbits と複数形がきているので was ではなく、were です。

訳 昔々、4匹の小ウサギがいました。名前はフロプシィ、モプシィ、コットンテイル、そしてピーターです。

② with「～と一緒に」、in「～の中に」、underneath「～の下に」、of「～の」など前置詞がたくさん。

訳 彼らはお母さんと一緒に、とても大きなモミの木の根の下にある砂の土手の中に住んでいました。

③ 物語では直接話法の'セリフ'の後に、said ＋主語という語順がよく登場します。2つ目の'セリフ'の助動詞 may は「～してもいい」という許可を表します。このセリフの最後の he was put in は、be 動詞＋過去分詞の受動態です。

訳「さあ、みんな。」ある朝、年をとったウサギ夫人は言いました。「畑や小道の方へ行くのはいいけれど、マクレガーさんの庭へ行ってはだめよ。あなたたちのお父さんはそこで事故にあったの。マクレガー夫人にパイの中に入れられてしまったのよ。」

パ、パ、パイの中に!? 衝撃の展開に2度見してしまったよ。

④ run along は主に命令文で、親から子への指示として使われる表現。I am going out. は現在進行形です。近い未来の予定を表します。

訳「それじゃ、遊んでらっしゃい。いたずらをしないように。私は出かけますからね。」